

「持続可能なものづくり」を ビジネスチャンスに

参加費
無料

サーキュラーエコノミーは、資源の効率的・循環的利用を図りつつ、付加価値の最大化を図る経済システムとして注目されています。

市場や社会からの環境配慮要請は急速に高まっており、循環性の高いビジネスモデルへの転換は中長期的な競争力強化につながりビジネスチャンスとなります。

サーキュラーエコノミーの考え方や具体的な事例を学び、新たな価値創造への一歩を踏み出しませんか！？

日時

令和6年12月11日(水) 13:30～16:05

開催方法

オンライン (Microsoft Teams)

対象

県内企業 (主に製造業) の経営層、
直接部門の管理者、一般社員等

申込期限

令和6年12月6日(金)

※申し込み後、登録のメールアドレス宛にセミナー
の接続URLが自動送信されます

お申し込みは
こちらから↓



基調講演

「成長志向型の資源自律経済の確立に向けた
取組について」

13:40～14:25

経済産業省 GXグループ 資源循環経済課 専門職 梅村 啓靖 氏

講演

「循環型ビジネスが生み出す新たな価値。
サーキュラーエコノミー最前線」

14:25～15:50

サークルデザイン株式会社 代表取締役 那須 清和 氏

米大学卒業後、二社を経て、サーキュラーエコノミーに特化した共創・コンサルティング・リサーチ・研修業務などを行うサークルデザイン株式会社を2020年に設立。

Circular Economy Hub 編集長 (ハーチ株式会社運営)、愛知県蒲郡市サーキュラーシティプロジェクトアドバイザー、(一社)日本サステナブルサロン協会理事、ビジネスアクセラレーターかながわ (BAKバク) メンターなども務める。



事業紹介

「大分県ものづくり循環経済推進事業」について
大分県 (工業振興課)

15:50～16:05

※当該セミナーの受講 (要アンケート回答) は、今後の大分県ものづくり循環経済推進事業費補助金の公募において、審査加点対象となります。

【主催】大分県 商工観光労働部 工業振興課 管理・環境班 097-506-3265

循環経済ビジョン2020（経済産業省 2020.5）

- 「環境と成長の好循環」を図るため、
環境活動としての3R(Reduce・Reuse・Recycle) から
循環経済(Circular Economy)への転換が必要

事業活動の持続可能性を高め、中長期的な競争力を確保するため、あらゆる産業において、経営戦略・事業戦略として、「循環性の高いビジネスモデル」へ移行することが重要。

特に、ものづくり産業においては、資源投入量・消費量を抑えつつ、設計から廃棄段階まで含めたモノのライフサイクル全体を考慮した製品づくりをデザインしていく必要があります。

☞SDGsゴール⑫「持続可能な生産と消費(作る責任、使う責任)」

